

## 出穂早まる！葉色の淡いほ場では遅れずに穂肥を!!

### 1 生育概況

- 葉色は指標値並です。しかし、葉色が低下し、穂肥施用後も葉色の淡いほ場がみられます。
- 出穂は平年より1日程度早まると見込まれます。(5/10~15の田植では8/2頃が出穂期の見込み)

7/26 現在の生育 葉色：並（一部で淡い） SPAD値 32.6  
※コシヒカリ（指標値比） (SPAD値+0.1)

		田植日	葉色 (SPAD 値)		
			本年	指標差	前年差
コシヒカリ	下稻塚	5/8	32.0	-0.5	-2.6
	高森	5/17	31.7	-0.8	-5.9
	長崎	5/10	36.7	4.2	-1.8
	上百々	5/19	30.0	-2.5	-5.5
	平均		32.6	0.1	-3.9

### 2 北陸地方1か月予報（新潟地方気象台 7月22日発表）

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率が60%です。特に7月31日~8月6日は気温がかなり高くなる可能性があります。

### 3 今後の管理

- 穂ばらみ期から出穂・開花期頃は最も水が必要な時期です。ほ場の水分状態に応じたこまめな水管理で稲体の活力低下や下葉の枯れ上りを防いでください。
- 高温・多照が続く予報です。葉色が淡い場合は、栄養凋落が懸念されることから、品質維持のため下記のめやすを下回るほ場では、追加穂肥を施用してください。

『分施体系の追加穂肥施用のめやす』

施肥体系	判定時期と葉色のめやす	施用時期と施用量
化学肥料体系【慣行栽培】 ・1~3回目とも化学肥料	出穂期3日前の葉色 SPAD値：31以下、葉色板4.0以下	出穂期3日前に 窒素成分で1kgを上限
有機質肥料体系【減減栽培】 ・3回目に有機50%肥料	出穂期6日前の葉色 SPAD値：33以下、葉色板4.5以下	出穂期3日前に 窒素成分で1kgをめやす

『基肥一発体系のめやす』

出穂期の葉色が33(葉色板4.5)を下回ると予想される場合は、追加穂肥を実施してください。

- 斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。農道・畦畔の草刈りと適期の薬剤防除を実施しましょう。